11月の図書館だより

No. ５１１〔２０２６（令和８）年１１月号〕

草津市立図書館
☎ 077-565-1818
FAX 077-565-0903

草津市立南草津図書館
☎ 077-567-0373
FAX 077-567-2357

日	月	火	水	木	金	土
1	2 南館休	3 両館休	4	5	6	7
8	9 南館休	10 本館休	11	12 H①	13	14 M①
15	16 南館休	17 本館休	18	19	20	21 H②
22	23 両館休	24 本館休	25 両館休	26 M②	27	28
29	30 南館休					

開館日　●本館 水～月曜日 午前10時～午後6時
　　〇南館 火～日曜日 午前10時～午後8時
休館日　●本館 火曜日　　〇南館 月曜日
　　●〇両館 祝日、月末水曜日、特別整理期間、
　　年末年始〔12月28日～1月4日〕

＝ TOPICS ＝

★司書の一箱選書（本館・南館）
10月29日㈭～12月27日㈰

店舗に見たてた一箱に、司書がテーマを決めておすすめの本を集めた企画展示です。
ぜひお気に入りの本を見つけてください。

★12月図書館DAY
「脳活に！連鶴をつくろう」
日時　12月19日㈯10:30～11:30
内容　一枚の紙で折る連鶴づくり
対象　どなたでも
定員　10組程度（先着順）
申込　11月11日㈬から
　　窓口・電話・電子申請

＝ EVENTS ＝

●草津市立図書館（本館） ･･･ H

H①：木曜おはなしのじかん（キッズデー）
日時　12日㈭　11時～11時30分
会場　2階　会議室
対象　乳幼児と保護者の方
内容　ほめる・みつめる・よみきかせ
手遊び、絵本の開き読みなど

H②：11月図書館DAY　11月21日㈯
様々な本と出合うイベントを開催します。

・関西みらい銀行連携講座
「お金に関する豊かなライフプランのために」
時間　10時30分～12時
内容　未来に備えるために、NISAやiDeCoなどの資産形成や金融リテラシーについて分かりやすくお話しいただきます。
講師　関西みらい銀行　永井　祐司氏
定員　30名程度（先着順）
申込　受付中（窓口・電話・電子申請）

・おはなし会
時間　11時～11時45分
共催　草津おはなし研究会

・ビブリオバトル
時間　13時30分～14時30分
内容　本の紹介コミュニケーションゲーム
定員　バトラー5名（観覧自由）

・おはなしのじかん
時間　14時30分～15時
内容　司書による絵本や紙芝居など

〇草津市立南草津図書館（南館） ･･･ M

M①：11月みなくさとしょかんDAY　11月14日㈯
様々な本と出合うイベントを開催します。

・みずの森のはっぱでこすりだしをしよう
時間　10時～18時
内容　はっぱのこすりだしをして黒板を飾ろう

・おはなし会
時間　11時～11時45分
共催　草津おはなし研究会

・おはなしのじかん
時間　14時30分～15時
内容　司書による絵本や紙芝居など

M②：木曜おはなしのじかん（キッズデー）
日時　26日㈭　11時～11時30分
会場　絵本コーナー
対象　乳幼児と保護者の方
内容　ほめる・みつめる・よみきかせ
手遊び、絵本の開き読みなど

10月27日㈫～11月9日㈰は読書週間
今年の標語は「静かだけど、冒険中。」



新着図書の紹介 2026年11月

・お読みになりたい本がありましたら、ご予約ください。（返却期限の過ぎた本をお持ちの方は、返却を済ませてから、ご予約ください。）
・紹介していない本でも、ご予約いただけます。（電話でも結構です。それぞれご利用になる館に直接連絡してください。）

No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名
1	007.13	AIで困ったときの大事典		41	496.8	義歯と口腔カンジダ症	川崎　清嗣／著	81	911.168 ス	サーカスは一度きり	鈴木　晴香／著
2	007.3	AI時代に自分の頭でどう考える?	池上　彰／著	42	497.7	咀しゃくと嚥下など子どものお口の成長	高島　隆太郎／著	82	911.307 ナ	夏井いつきの世界一わかりやすい投句の授業	夏井　いつき／著
3	007.63	はじめてのMacBook Neo 100%入門ガイド	リンクアップ／著	43	498.3	84歳、現役女医のひとり暮らし	天野　惠子／著	83	913.6 ア	その犬をください	逢坂　冬馬／著
4	016.29	みんとしょ	土肥　潤也／著	44	498.583	少食さんの栄養のとり方	植木　もも子／著	84	913.6 ア	朝焼けキッチンカー	秋川　滝美／著
5	017.4	ヘルマン・ヘッセがカレーライスを食べる話、ありますか	神奈川県学校図書館員研究会／著	45	520.2	ウソみたいだけど本当にあったへんな城	真山　知幸／著	85	913.6 ア	ハザードランプ	芦沢　央／著
6	019	9割の日本人のための「ゆる読書」入門	飯田　一史／著	46	523.162	京都建物でめぐるレトロモダン大学案内	片岡　れいこ／著	86	913.6 ア	青春とそれから	彩瀬　まる／著
7	019.5	しあわせな読書時間	東京子ども図書館／編集	47	525.8	鳥害	小林　友希／著	87	913.6 イ	あなただけに許す距離	一木　けい／著
8	104	放課後の哲学	土浦一高哲学部／編著	48	547.53	数式を使わないパラボラアンテナ入門	木内　等／著	88	913.6 ウ	ママはもういないんだ	宇山　佳佑／著
9	135.4	はじめてのベルクソン	平井　靖史／著	49	589	日本懐かし日用品大全		89	913.6 ク	流砂	黒川　博行／著
10	146.812	心を病んだ子どもが悪い?そんな!	小野　幸子／著	50	589.2	70歳一人暮らし、ふだん着おしゃれが日々の杖	本田　葉子／著	90	913.6 コ	失くしても、また	小手鞠　るい／著
11	162.1	宗教は戦争にどう関わってきたのか	島薗　進／著	51	590	ミニマリストが手放さない愛用品		91	913.6 コ	安恒	今野　敏／著
12	210.33	祝・世界遺産!今こそ知りたい飛鳥・藤原の宮都		52	594	「作りたい!」がきっと見つかるミシンで楽しむ布こもの		92	913.6 サ	小説ヒトラー　1	佐藤　賢一／著
13	230.3	ヨーロッパは、いかに創られたか	井上　文則／著	53	594.3	かぎ針で編める模様を楽しむ丸ヨークウエア		93	913.6 サ	夜の海をゆく人よ	佐原　ひかり／著
14	237.04	中世シチリア王国の謎	高山　博／[著]	54	596	ずっとおいしく食べるためのかむかむレシピ	牛尾　理恵／[著]	94	913.6 ツ	泡	辻　仁成／著
15	242.03	現代にピラミッドを建設しようとしたら、超大変だった話	大城　道則／著	55	596.22	麻辣湯ダイエットレシピ	かなやん／著	95	913.6 ツ	残火	辻堂　ゆめ／著
16	253.01	アメリカ革命史	石川　敬史／著	56	596.65	安心して食べられる低糖質あんこのおやつ	シンレスHisae／著	96	913.6 ド	絶遠の春	堂場　瞬一／著
17	291.0	あの人の旅案内		57	597	小さく暮らす	大木奈　ハル子／著	97	913.6 ナ	刑事葛城 正義の銃弾	中山　七里／著
18	291.61	観光コースでない琵琶湖・滋賀	奥村　信夫／著	58	611.76	エコビレッジ	小川　美農里／著	98	913.6 ハ	星のうらの恋	畑野　智美／著
19	291.61	北近江を醸す	家鴨　あひる／執筆	59	626.9	堆肥と肥料の準備&使い方		99	913.6 ハ	春までのセンセイ	早見　和真／著
20	291.65	世界遺産奈良		60	646.1	ニワトリと卵の疑問53	日本家禽学会／編	100	913.6 マ	フィクサー	真山　仁／[著]
21	304	かわいそうな日本の私	白井　聡／著	61	650	森の科学		101	913.6 マ	嘘つきは人間のはじまり	真梨　幸子／著
22	316.81	キミもワタシも外国人	上方平和教育研究所／編	62	673.3	人生を変えるポイ活	増田　和彦／著	102	913.6 ミ	Z線上のピエタ	宮内　悠介／著
23	326.2	これだけで、逮捕	森　雅人／著	63	686.53	大阪駅と梅田駅	伊原　薫／著	103	913.6 ミ	ギャルにひかれて寺マルシェ	宮島　未奈／著
24	336.57	AI推進担当になったら読む本	佐藤　傑／著	64	687.7	書かなきゃいけない	青山　透子／著	104	913.6 モ	京都北山館の魔女たち	望月　麻衣／著
25	338.953	為替介入とは何か	服部　孝洋／著	65	707.9	元学芸員の美大教員が教える美術鑑賞の楽しみ方	ちいさな美術館の学芸員／著	105	913.6 ヤ	金曜日のビストロジュン	山口　恵以子／[著]
26	342.1	税金はどこへ行くのか	田中　弥生／著	66	721.8	すごい!絵双六	吉田　修／著	106	913.6 ヤ	深川かたぎ	山本　一力／著
27	361.5	虫とマンガと日本人	養老　孟司／著	67	726.601	生きるということは、本当は、喜びです	かこ　さとし／著	107	913.6 リ	地の果て、砂の祈り	李　琴峰／著
28	361.78	アフリカ地図にない都市	小野　悠／著	68	726.9	ジャンクジャーナルのはじめ方	島本　彩子／監修	108	913.68 ア	あの日のチョコレート	江國　香織／他著
29	367.3	機嫌のいいママになりたい!	杉浦　さやか／著	69	746.7	Canvaでかんたん!ショート動画制作・運用の教科書	長谷川　敬介／著	109	914.6 サ	ふじさん	さくら　ももこ／著
30	369.17	図解でわかる民生委員活動	小林　雅彦／著	70	754.9	いしばしなおこのかわいいどうぶつ折り紙	いしばし　なおこ／[著]	110	914.6 サ	いちいちうるせえなありがたいね	佐藤　愛子／著
31	376.4	高校生が創作した金言・名言366	永野　恒雄／編著	71	757.3	もっと知りたい日本の伝統色	國本　学史／著	111	914.6 チ	しろとくろの偏愛	千早　茜／著
32	382.1	江戸時代流行大全	堀口　茉純／著	72	761	音楽と科学		112	914.6 マ	物件漂流記	松尾　スズキ／著
33	452.9678	「氷の島」グリーンランドで何が起きているのか	庭野　匡思／著	73	780.7	60歳からのゆるスクワット入門	ソネ　ジュンコ／監修	113	916 セ	ヤングケアラーの僕が東大に合格するまで	清野　孝弥／著
34	457.87	旅する図鑑全国恐竜・古生物博物館ガイド100	朝日新聞出版／編著	74	786.1	山の法律相談所	安藤　雅樹／著	114	929.13 チ	雪でできた人	チェ　ウンミ／著
35	469	昔の人はどんな生活を送っていたか	蔦谷　匠／著	75	795	囲碁ほんとうに大事な布石の考え方	佐々木　柊真／著	115	929.14 ハ	私が四番目に愛する季節	ハン　ジョンウォン／著
36	489.57	クマに出遭ってしまったら?	山崎　晃司／編著	76	798.5	ファミコンパチモノソフト大百科	麟閣／著	116	933.7 グ	楽園の子どもたち	カミラ・グルドーヴァ／著
37	490.14	欲張らない死に方	久坂部　羊／著	77	801	美しい言語学のはなし	小野　純一／著	117	933.7 ジ	はいつくばって	ミランダ・ジュライ／著
38	491.59	最強にわかる毒	船山　信次／監修	78	810.4	「語彙力」の解剖図鑑	山口　謡司／著	118	933.7 モ	時計職人の娘　上・下	ケイト・モートン／著
39	493.123	血糖値が気になる人の「食べてよいもの・控えたいもの」大全	宇都宮　一典／監修	79	810.4	説明できそうでできない不思議な日本語の世界	高嶋　幸太／著	119	936 チ	翔べ、ワイルド・スワン	ユン・チアン／著
40	493.7	「回復」という毒	風間　暁／著	80	821.2	風の道	白川　静／著	120	953.7 ネ	語られる映画	イレーヌ・ネミロフスキー／著

●草津市立図書館トップページ（PC用）：　http://www.city.kusatsu.shiga.jp/toshokan/
●パソコンからの蔵書検索・利用照会ページ：　https://www.iw.licsre-saas.jp/kusatsu/webopac/index.do

●図書館からの予約連絡用メールアドレス：　kusatsu_library@iw.licsre-saas.jp
（送信専用です。返信されてもお答えできません。）

今月の新刊から



『あの人が作った博物館』

丹治　俊樹／著

（みらいパブリッシング）

069．021【本館所蔵】

本書は、私設博物館のガイドブックだ。全国から45館紹介されているが、外国政府公認で国を扱うものから、ジンギスカン鍋などマニアックなもの、自作の彫刻や模型まで、その展示物や規模、目的は実に様々である。共通するのは、そこに並々ならぬ情熱があり、個人の人生が否応なく滲み出ている点、どれも博物館を作った「あの人」の存在感がそこかしこに表れ、一度見たら忘れられない所ばかりだ。

著者自身が博物館マニアで、自ら撮影した写真を全てカラーで掲載、隅々まで楽しめるこの本そのものが、いわば紙上の私設博物館といった趣だが、著者の言う通り、実際に訪ね、空間を体験し、物を目にし、人に出会うことでしか得られない何かがあることも十分に伝わってくる。利益重視の昨今、「値段」ではない価値や物そのものを大切にしていこうとする人たちの姿を見ているだけで、こちらまで心が豊かになってくる気がした。　（本館　森野）

本書は、2つのことばの間で生きてきた著者によるエッセイ集だ。彼女は在日韓国人三世として生まれ育ち、現在は韓国を拠点に翻訳家として活動している。子どもの頃は自分のアイデンティティに釈然としない気持ちを抱えていたが、気付けば遠ざけてきたはずの韓国語の世界にのめり込んだ。異なる文化、価値観に驚き呆れても、著者はいたってポジティブである。

持ち前の好奇心の強さは翻訳業においても発揮されている。たとえば、「懐石料理」を知らない読者にどうすれば言葉の意味が伝わるか。それにはまず懐石料理について知ることから始まる。翻訳は、原作者を深く知り、その人になりきる作業でもあるという。その作業をとある贋作師の仕事に重ねる一節はどこか愉快だ。また、「涼しい」という意味の言葉を熱いお風呂に入った時にも使うのはなぜかなど、韓国語の面白さや文化の違いにも触れる。異なることが身近だった子ども時代が、今の自分へと導いてくれた。知らない言葉に想像をめぐらせ、愛する猫を撫で、今日も著者は奮闘する。　（本館　桂木）



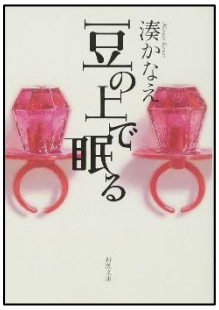
『ことばの波間で　日本語と韓国語のあいだ』

カン・バンファ／著

（平凡社）

801．7【本館所蔵】

司書のおすすめ



『豆の上で眠る』

湊　かなえ／著

（新潮社）

２０１４年刊

913．６ミ

【両館所蔵】

著者の湊かなえは「イヤな後味を残すミステリー」、すなわち「イヤミス」を得意とする、言わずと知れた人気作家である。『告白』『Nのために』など、多くの作品が映画やドラマとして映像化され、ファン層は本好きに留まらない。そんな彼女の作品の中でも、私の心に残っているのが本書だ。

主人公・結衣子は大学生の夏休み、実家に帰省するため新幹線に乗っていた。実家に近づいていくに連れ、幼いころの記憶が脳内に溢れ出してくる。小学１年生の夏、２つ年上の姉・万佑子が失踪した。警察や家族が必死に捜索するも見つからず、誘拐の疑いから犯人探しに明け暮れ 2 年が過ぎたころ、万佑子は突然姿を現す。だが結衣子の記憶は、現れた万佑子が自分の姉であることを否定していた。

モノローグ形式で語られるため、読み進めるほどに結衣子と自分の感情が共鳴していく。アンデルセン童話を思わせるタイトルと宝石型のキャンディがついた指輪が、純真な幼子を想起させる装丁だが、これがむしろ真相を知った後に残る虚無感とやり場のない気持ちを引き立てる。

本書を読んだ後、兄弟姉妹の関係性に思いを馳せた。馬が合うから一緒にいる友達とも、自分を育ててくれた恩がある親とも違う、同じ親から産まれただけの人。私にも妹がいるが、驚くほど性格や考え方が違うので、憎み合い、喧嘩ばかりして育った。それでも何故か、大切な存在だと思える不思議な関係である。血の繋がりがそうさせるのだろうか。共に過ごした時間により生まれる情のせいだろうか。兄弟姉妹をもつ同士は、作中の結衣子と万佑子の繋がりを通して、自分たちの関係にも一度目を向けてみてほしい。　（本館　稲垣）